



新素材採用によりトノカバーの大幅な軽量化を実現

林テレンプ株式会社（本社：名古屋市中区、社長：林貴夫）は、従来品に対して大幅な軽量化を実現した「**軽量タイプトノカバー**」（巻取式）を商品化することに成功した。

世界的に環境規制の強化が進む中、自動車には燃費効率の向上が求められ、軽量化へのニーズがますます高まっている。今回、林テレンプは**従来の製品に対し、約▲20%の軽量化を実現**するトノカバーを開発した。このトノカバーは2017年2月にトヨタ自動車株式会社が発表した新型「プリウスPHV」に最初に採用され、今後の新型車への採用を狙っていく。

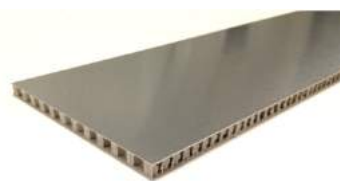
この芯材は岐阜プラスチック工業（本社：岐阜市、社長：大松利幸）が製造する「TECCELL®」がベースになっており、林テレンプがその軽量・高剛性性能に着目し、共同で自動車向けに開発し、トノカバーの持ち手部分としての実用化に成功した。

林テレンプと岐阜プラスチック工業は、今回開発した素材を使い、自動車内装部品への更なる軽量化ニーズに対応するため、トノカバー以外の用途も含め、共同で応用開発に取り組んでいく。

以上



「**軽量タイプトノカバー**」



自動車向け
「**TECCELL®**」

【報道関係のお問合せ先】

- ・岐阜プラスチック工業株式会社 部品事業部
- ・林テレンプ株式会社 経営企画部

TEL : 058-386-9320

TEL : 052-322-2135